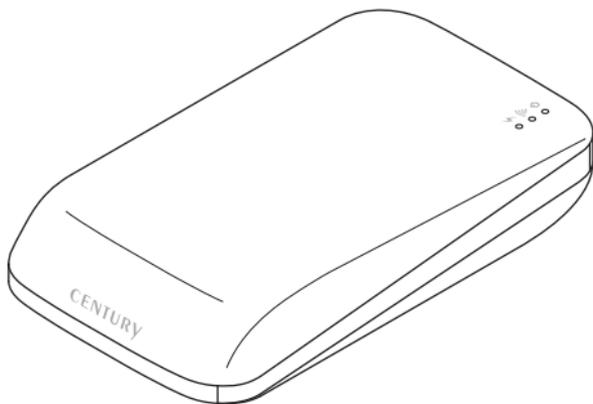


どこで〜もWi-Fi Box

Wi-Fi & USB3.0接続2.5" SATA HDD/SSDケース

CDWF25U3 取扱説明書



もくじ

はじめに	6
●安全上のご注意	6
●制限事項	8
●ご使用の前に	9
製品仕様	10
●本体仕様	10
●無線LAN仕様	10
●バッテリー仕様	11
対応情報	12
●対応HDD/SSD	12
●対応機種	12
●対応OS	12
製品内容	13
●セット内容の確認	13
各部の名称	14
HDD/SSDの組み込み方法	16
●HDD/SSDを本体に組み込む	16
PCとの接続方法	20
●本製品とPCをUSB接続する	20

電源のオン・オフ方法 21

- 本製品の電源をオン・オフする…………… 21

充電方法 22

- 本製品を充電する…………… 22
- 充電時間の目安…………… 22

Wi-Fiの設定方法 23

- Windows 8の場合…………… 23
- Windows 7/Vista/XPの場合…………… 25
- Mac OSの場合…………… 27
- iOS (iPhone/iPad/iPod touch)の場合…………… 28
- Androidスマートフォン・タブレットの場合…………… 29

PCから本製品にWi-Fiでアクセスする 31

- 検索ユーティリティ「IkasuFinder」について…………… 32
- 「IkasuFinder」のダウンロード方法 (Windows/Mac共通)…………… 32
- Windowsからのアクセス方法…………… 34
- Mac OSからのアクセス方法…………… 38

本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする 40

- アクセスの概要 (Windows/Mac共通)…………… 40
- インターネットへのアクセス方法…………… 41

本製品のWAN側IPアドレスを設定する 43

- WAN側IPアドレスの設定方法…………… 43

もくじ

本製品のセキュリティ設定を変更する	45
●セキュリティの概要 (Windows/Mac共通)	45
●セキュリティキーの変更方法	45
本製品のSSIDを変更する	47
●SSIDの変更方法	47
SSIDを非表示にする (SSIDステルス機能)	49
●SSIDを非表示にする方法	49
●SSID非表示後のWi-Fi接続方法 (Windowsの場合)	51
●SSID非表示後のWi-Fi接続方法 (Macの場合)	53
その他の設定	54
●スリープ機能を無効にする	54
●スリープ機能の設定方法	54
●仮想メモリを無効にする	55
●仮想メモリの設定方法	56
トラブルシューティング	57
FAQ (よくある質問とその回答)	60

巻末付録

巻末付録1

- 領域の確保とフォーマット 巻末付録2
 - Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合 巻末付録2
 - Windows XPの場合 巻末付録8
- ハードウェアの取り外しについて 巻末付録13
- ハードウェアの取り外し手順 巻末付録13
- Mac OSでの使用方法 巻末付録15
- サポートのご案内 巻末付録18

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ます。

本書には、重要な注意事項や本製品のお取り扱い方法が記載されています。
ご使用になる前に本書をよくお読みのうえ、本製品を正しく安全にお使いください。

また、お読みになった後も大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

安全上のご注意 〈必ず守っていただくようお願いいたします〉

- ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害ないし物的損害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造することは火災や感電の原因となります。

点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘などで固定すると傷ついて芯線の露出や断線などによる火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。

また、足を引っかけるおそれのある位置などには設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠ 注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しぶきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温なところ
- 火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線などの原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けがなどの原因になることがあります。

■静電気を与えないでください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

はじめに

制限事項

- 本製品を使用するによって生じた直接、間接の損害、データの消失などについては、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
このような環境下での使用に関して、弊社では一切その責を負いません。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。
必ず離してご使用ください。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品はSATA専用です。PATA（IDE）HDDは接続できません。

ご使用前に

- 本書の内容などに関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- Apple、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone、iPad、iPod touch はApple Inc.の商標です。
- Google および Googleロゴ、Google Play および Google Playロゴ、Android および Androidロゴ は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- Windows は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- PlayStation 3 は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
- その他、本書に記載の各商品、および製品、社名は各社の商標または登録商標です。
- 本書内の操作画面は開発中のものとなり、実際の画面と異なる場合がございます。
- イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- HDD/SSDの組み込みにはプラスドライバーが必要となります。別途ご用意ください。
- 本製品にスマートフォンは付属しません。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

製品仕様

本体仕様

- 商 品 名：どこで〜もWi-Fi Box
- 型 番：CDWF25U3
- インターフェイス
 - 〈デバイス側〉：SATA I/II/3.0 1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps
 - 〈ホスト側〉：USB3.0
- インターフェイス形状：Micro B
- 寸 法：幅82mm × 高さ29mm × 奥行139mm(突起部除く)
- 重 量：約150g (付属品除く)
- 温 度：5℃～35℃
- 湿 度：20%～80% (結露しないこと)

無線LAN仕様

- 規 格：IEEE802.11b/g/n 2.4GHz
- 転送速度(理論値)：150Mbps*
※実際の転送速度は3～4MB/秒程度となります。
- セキュリティ：WEP/WPA/WPA2 SSIDステルス
- 接続方式：APモード/APクライアントモード
- 同時アクセス可能数：最大5台 (アクセス状況により変動します)

バッテリー仕様

■バッテリー仕様：3.6V 2900mAh

■連続使用時間：2.5" HDD使用時…約140分*

2.5" SSD使用時…約240分*

※組み込んだデバイスやアクセス状態によって時間は大きく変わります。

■充電時間：USB-ACアダプター(別売、5V 1A)使用時…約6時間*

PCのUSBポート(5V 500mA)使用時…約12時間*

※接続した機器により充電時間は大きく変わります。

～バッテリー使用時のご注意～

- 電池残量があるにも関わらず、突然動作しなくなったり、本体が異常発熱した場合はただちに使用をお止めください。

バッテリーが破裂するおそれがあります。

- 充電しても使用できなくなったり、バッテリーの経年劣化により本体が膨らんできた場合、ただちに使用を中止してください。

- 本製品に搭載しているバッテリーは消耗部品です。バッテリーの充電して放電できるサイクル回数は決まっており、使用と共に劣化し、動作時間が次第に短くなっていきます。

満充電状態を長時間維持したり、バッテリーが空に近い状態で長期保存してしまいますと、バッテリーの寿命を縮めてしまいます。ご注意ください。

- バッテリーを分解することは絶対にしないでください。

発火・破裂の原因になります。

- バッテリーの交換はできません。



対応情報

対応HDD/SSD

■5V駆動 9.5mm厚までの2.5" SATA HDD/SSD (SATA I/II/3.0/1.5Gbps/3.0Gbps/6Gbps)

※本製品はSATA HDD/SSD専用です。PATA (IDE)、SAS HDDは接続できません。

※1.8インチ、ZIFコネクタ、Micro SATAコネクタ、MiniSATA、PCIe接続、3.3V駆動、12V駆動およびSATA接続以外の特殊形状HDD/SSDは使用できません。

※本製品は2.5インチHDDの形状を基準に設計されておりますので、上部カバー等が通常の2.5インチHDDと異なる形状のSSDは接続できない場合があります。

※本製品はSATA 6Gbps HDDに対応していますが、インターフェイス側がUSB3.0のため、転送速度はUSB3.0の上限速度となります。

対応機種

■USB3.0/2.0インターフェイスを搭載し、Wi-Fi接続が可能な PC/AT互換機、Intel Mac

■iPhone/iPad/iPod touch

■Androidスマートフォン/タブレット

■DLNAに対応し、Wi-Fi接続が可能なメディア再生機器 (PlayStation 3 など)

対応OS

■Windows 8/7/Vista/XP(32bit)

■Mac OS 10.6以上

■iOS 5 以上

■Android OS 2.1以上

※上記以外のOSでは動作しません。

※Windows Updateにて最新の状態(Service Pack含む)にてご使用ください。

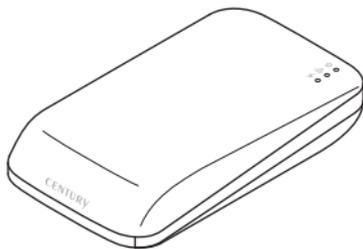
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

※iOS、Androidで使用する場合は、専用アプリ「Ikasu File Manager (無料)」のインストールが必要になります。

製品内容

セット内容の確認

- CDWF25U3 本体



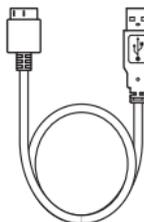
- HDD取付用ネジ x4
(うち2本はスペア用)



- ケース取付用ネジ x4
(うち2本はスペア用)



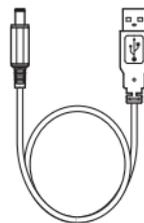
- 専用USB3.0ケーブル



- ゴム足 x2



- 専用DC-USBケーブル



- 取扱説明書/保証書



※家庭用100Vコンセントから電源を供給する場合は、別途USB-ACアダプターを用意する必要があります。

各部の名称

〈正面・天面〉



① パワー/アクセスLED

電源オン時、緑色に点灯し、HDDアクセス時はアクセスに合わせて点滅します。
また、HDDスリープ時は一定間隔で点滅します。
バッテリー残量が少なくなると、赤色に点滅します。

② Wi-FiアクセスLED

Wi-Fiの接続が確立すると青色に点灯し、通信を行うと点滅します。

③ チャージ/USB LED

充電時、緑色に点灯します。充電が完了すると消灯します。
また、USB接続の際にも緑色に点灯します（充電は行いません）。

〈背面〉

リセットボタン

→CDWF25U3のIDやパスワード、SSID等の設定を工場出荷時状態に初期化します。

(接続したHDD/SSDのデータは初期化されません。)

※奥にあるボタンを、つまようじなどで押してください。



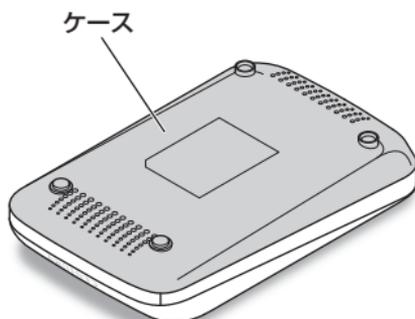
HDD/SSDの組み込み方法

★組み込みにはプラスドライバーが必要となります。別途ご用意ください。
またドライバーは、ネジの大きさにあった物をご使用ください。

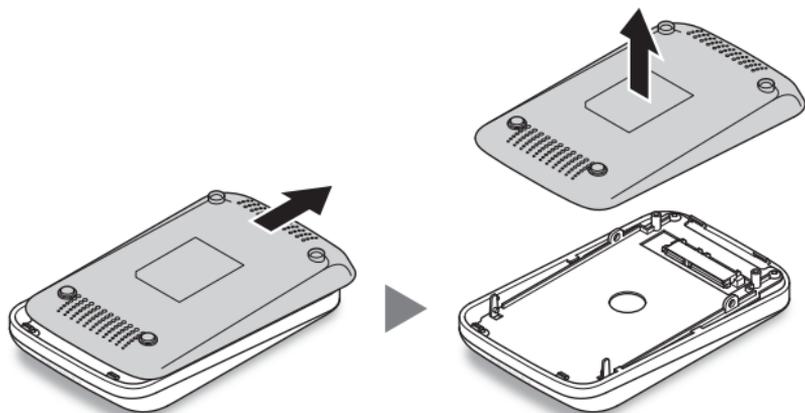
HDD/SSDを本体に組み込む

① 本体を裏向きにします。

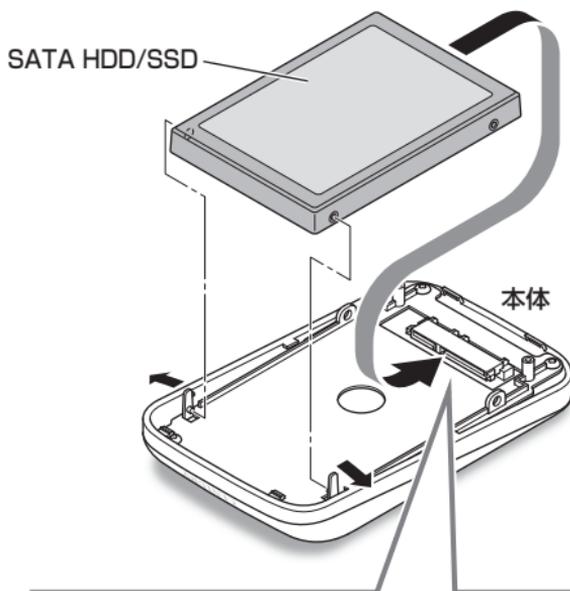
※本体天面のキズ付き防止のため、作業はやわらかい布などの上で行ってください。



② ケースをスライドして取り外します。

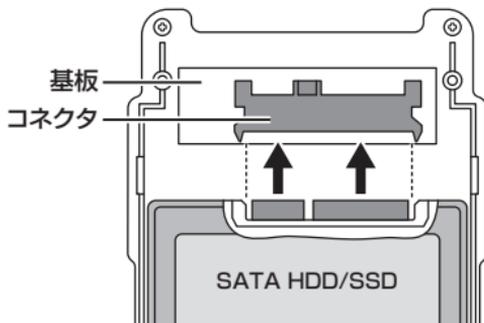


③ 本体のコネクタにHDD/SSDを取り付けます。



⚠ 警告

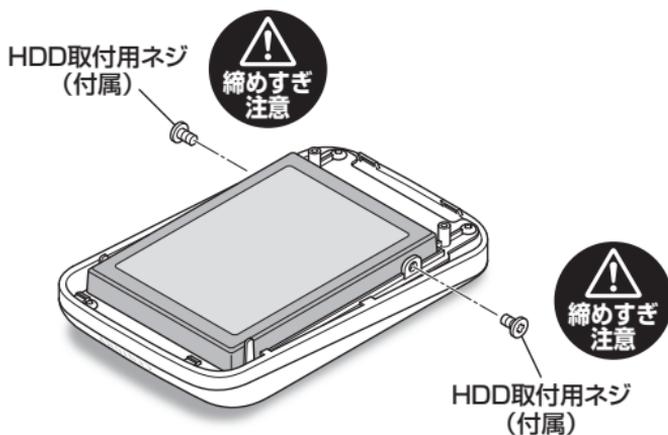
HDD/SSDをコネクタに半挿した状態で通电すると、
HDD/SSDや基板が破損します。
間違いなく奥まで正しい位置に接続してください。



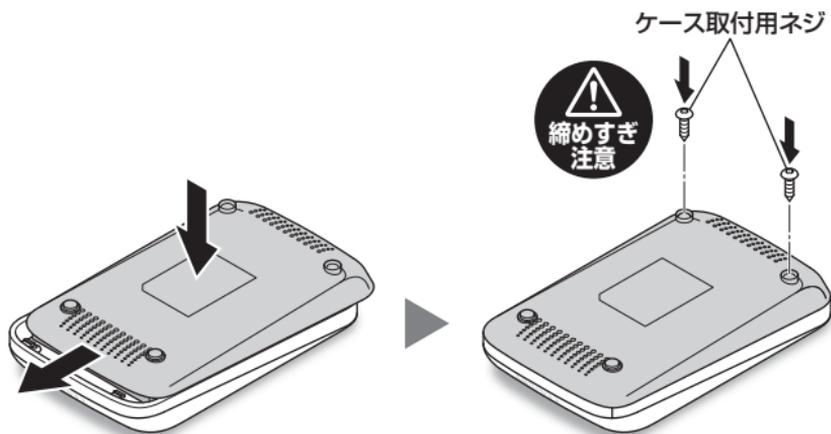
HDD/SSDの組み込み方法

HDD/SSDを本体に組み込む(つづき)

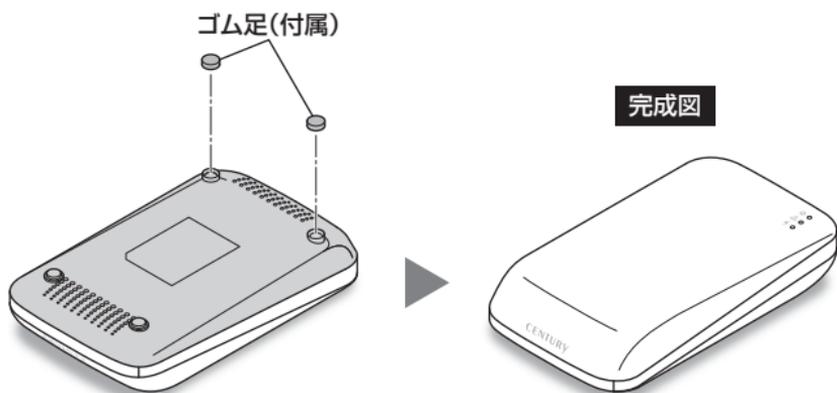
④HDD/SSDの側面をHDD取付用ネジで固定します。



⑤ケースをスライドして閉め、ケース取付用ネジを取り付けます。



⑥ ネジ止めした穴にゴム足を貼り、本体を表向きにして完成です。



※HDDを取り外す際は、逆の手順をたどってください。

PCとの接続方法

本製品とPCをUSB接続する

図のようにして本製品とPCを接続します。

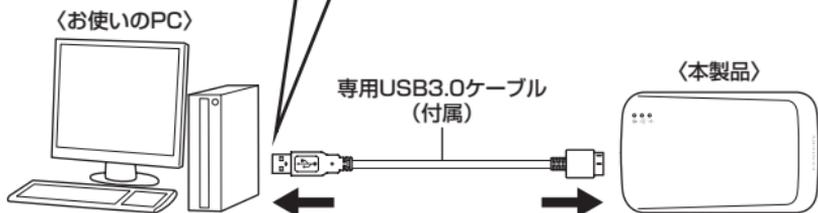
※Wi-Fi接続を行う場合はUSB接続は不要です。



ケーブルを接続する前に、本製品の電源が“オフ”になっていることを必ずご確認ください。

USB3.0またはUSB2.0/1.1コネクタへ

※PC側のUSBインターフェイス形状はUSB3.0/USB2.0/USB1.1とも共通ですので、USB3.0以外のUSBホストにも付属のUSB3.0ケーブルがご使用いただけます。



《各ケーブル接続後、電源を入れる》

※新しいHDD/SSDを搭載した場合は、領域の確保およびフォーマットが必要となります。

詳しくは、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

※本製品はUSB接続以外にも、Wi-Fi接続でPCとデータの転送を行うことができます。

Wi-Fi接続の方法はP.23【Wi-Fiの設定方法】をご参照ください。

※大容量のデータ転送を行う場合は、USB3.0/2.0接続をお勧めします。

※USB接続時はWi-Fiでの使用はできません。

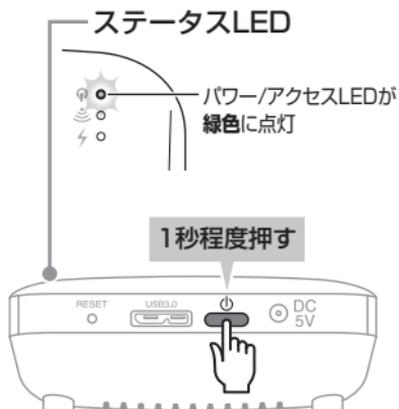
電源のオン・オフ方法

本製品の電源をオン・オフする

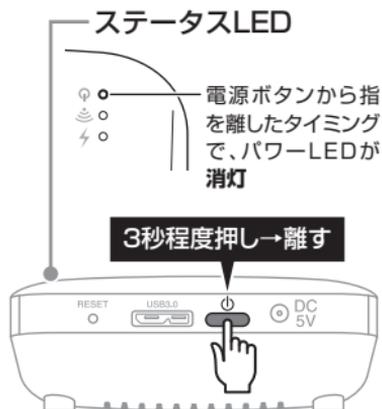
図のようにして本製品の電源をオン/オフします。

※PCとのUSB接続時は、USBケーブル接続時に自動的に電源がオンになります。

電源オン



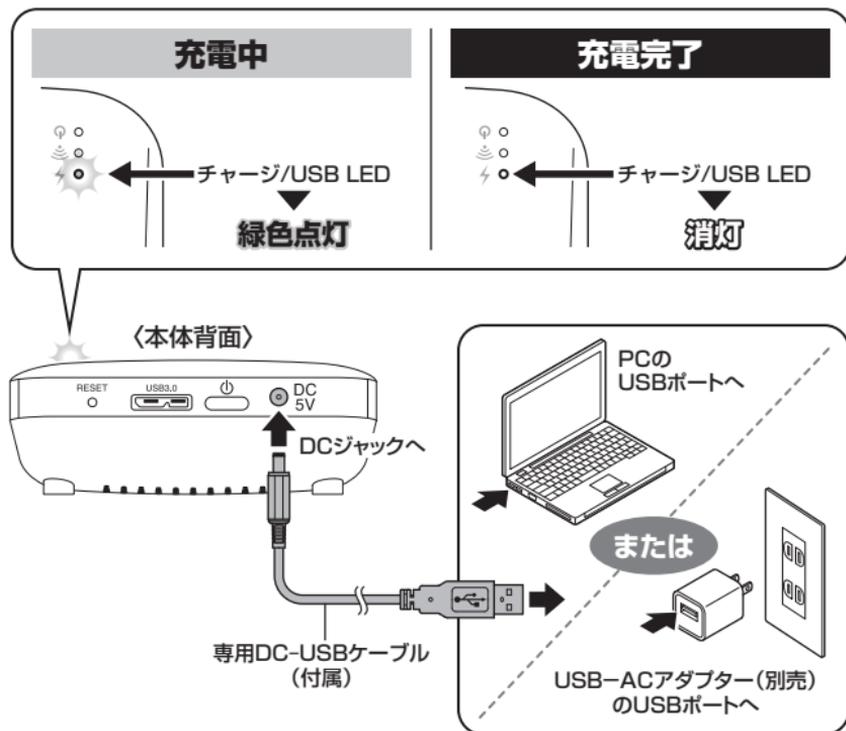
電源オフ



充電方法

本製品を充電する

付属のDC-USBケーブルを使用して、図のように本体とUSB-ACアダプター(別売)またはPCを接続します。



※本製品にUSB-ACアダプターは付属しません。別途ご用意ください。

※PCとUSB接続時、本製品はバスパワーで動作しますが、充電は行われません。→P.20

充電時間の目安

■USB-ACアダプター(別売、5V 1A)使用時…約6時間※

■PCのUSBポート(5V 500mA)使用時…約12時間※

※接続した機器により充電時間は大きく変わります。

Wi-Fiの設定方法

本項では、本製品とお持ちのデバイスをWi-Fi接続する方法を説明します。

※本製品をPCとUSB接続した状態ではWi-Fiは使用できません。

※無線LANルーターやモデムの設定は必要ありません。

Windows 8の場合

- ①モダンUIの右下にマウスカーソルを移動（またはタッチ）し、「設定」を選択します。



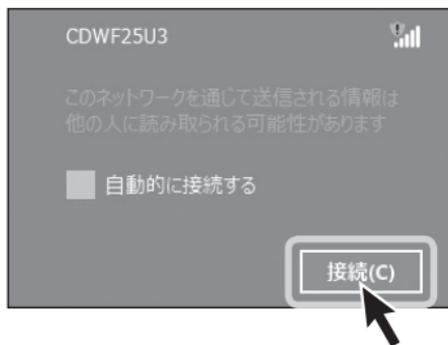
Wi-Fiの設定方法

Windows 8の場合(つづき)

②「ネットワーク」を選択します。



③Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CDWF25U3」を選択し「接続」をクリックまたはタッチします。



④ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーは本体設定で変更可能です。
→P.45【本製品のセキュリティ設定を変更する】



Windows 7/Vista/XPの場合

※OSにより画面の細部が異なりますが、操作は同じです。

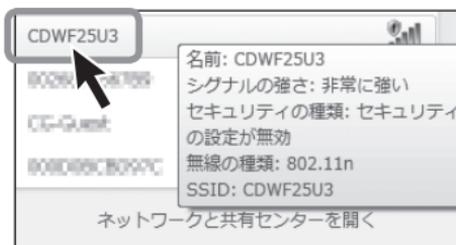
①タスクバー右下のWi-Fiマークをクリックします。



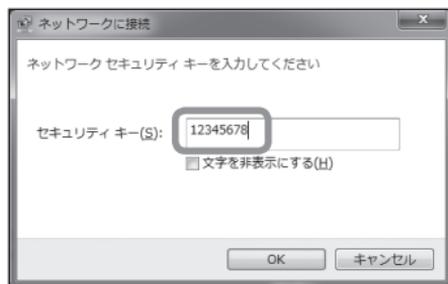
Wi-Fiの設定方法

Windows 7/Vista/XPの場合(つづき)

- ②Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CDWF25U3」を選択し「接続」をクリックします。



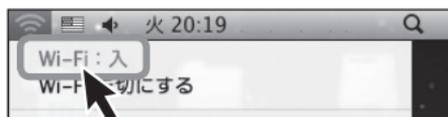
- ③ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーは本体設定で変更可能です。
→P.45【本製品のセキュリティ設定を変更する】



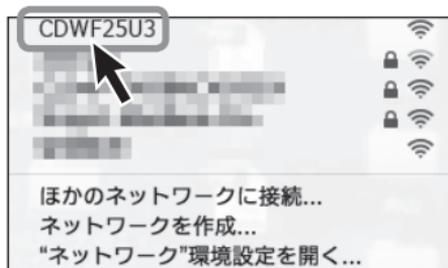
Mac OSの場合

- ① 上部タスクバーのWi-Fiマークをクリックします。

※Wi-Fiを使用していない場合、「Wi-Fiを入にする」をクリックしてください。



- ② Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CDWF25U3」を選択し「接続」をクリックします。



- ③ ネットワークセキュリティキーを入力します。

出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。セキュリティキーは本体設定で変更可能です。

→P.45【本製品のセキュリティ設定を変更する】



Wi-Fiの設定方法

iOS (iPhone/iPad/iPod touch) の場合

- ① ホーム画面から「設定」をタッチします。



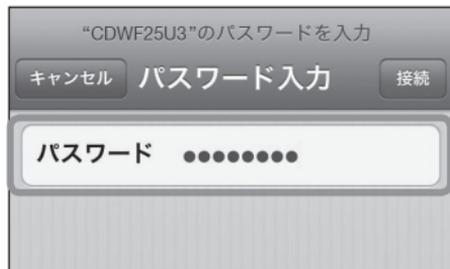
- ② 「Wi-Fi」をタッチします。



- ③ Wi-Fiを使用していない場合はWi-Fiをオンにします。
Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CDWF25U3」を選択し「接続」をタッチします。



- ④ ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーの変更はアプリ「IkasuFileManager」の設定から可能です。
詳しくは弊社WebサイトのPDFマニュアルをご参照ください。



Androidスマートフォン・タブレットの場合

※画面は「Nexus 7」のものになります。ご使用の機種やOSのバージョンにより操作方法や表示が異なる場合がありますので、詳しくはご使用の機種の取扱説明書をご参照ください。

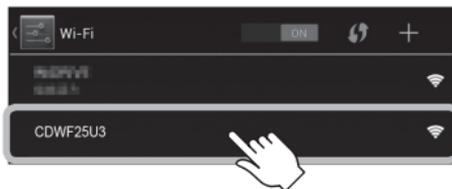
①「アプリ」内の「設定」をタッチします。



②Wi-Fiを使用していない場合はWi-Fiをオンにします。
その後「Wi-Fi」をタッチします。



③Wi-FiのSSID一覧が表示されますので、「CDWF25U3」を選択すると自動的に接続が開始します。



Wi-Fiの設定方法

Androidスマートフォン・タブレットの場合(つづき)

- ④ ネットワークセキュリティキーを入力します。
出荷時のセキュリティキーは「12345678」になります。
セキュリティキーの変更はアプリ「IkasuFileManager」の設定から可能です。
詳しくは弊社WebサイトのPDFマニュアルをご参照ください。



PCから本製品にWi-Fiでアクセスする

本項では、PCから本製品にWi-Fiでアクセスする方法を説明します。

スマートフォン・タブレットから本製品にアクセスする方法は、下記弊社WebサイトのPDFマニュアルをご参照ください。

<http://www.century.co.jp/support/download/manual-download.html>



注意

- 初回アクセス時には、本製品検索ユーティリティ「IkasuFinder」が必要です。
- PCから本製品にアクセスする場合、データの転送速度はおよそ4MB/秒程度になります。
大量のデータをコピーするなどの際は、PCと直接USB接続することをお勧めします。
- 本製品は一般的なNASのように、ユーザIDを追加してフォルダ、ファイルごとにアクセス制限をすることはできませんので、あらかじめご注意ください。
- 新しいHDD/SSDを搭載した場合は、あらかじめPCとUSB接続して領域の確保とフォーマットを行う必要があります。
Wi-Fi接続時はHDD/SSDのフォーマットはできませんのでご注意ください。
領域の確保とフォーマットについては、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。
- すでにデータが入っていて、かつ対応フォーマット(FAT32、exFAT、NTFS、HFS+)のHDD/SSDを搭載している場合は、上記作業は必要ありません。

PCから本製品にWi-Fiでアクセスする

検索ユーティリティ「IkasuFinder」について

- PCから本製品に搭載したHDD/SSDにアクセスするには、検索ユーティリティ「IkasuFinder」が必要です。
いちど設定を行えば、次回アクセス時からは本ユーティリティは必要ありません。
- 本ユーティリティは製品内に格納されているため、PCと本製品のWi-Fi設定が正しく行われていれば、インターネット接続は不要です。

「IkasuFinder」のダウンロード方法(Windows/Mac共通)

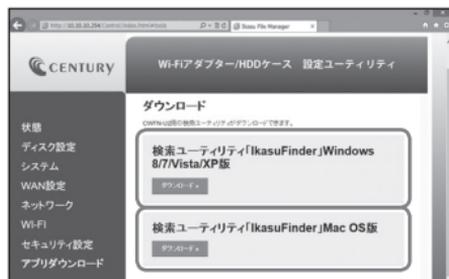
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター（リターン）キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「アプリダウンロード」をクリックします。



- ③ご使用のOSによってダウンロードファイルを選択します。



Windowsの場合

→ **【検索ユーティリティ「IkasuFinder」Windows 8/7/Vista/XP版】**

Macの場合

→ **【検索ユーティリティ「IkasuFinder」Mac OS版】**

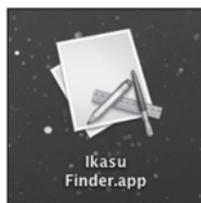
の「ダウンロード」ボタンをクリックします。

- ④ダウンロードファイルの保存先に次のファイルがダウンロードされていればダウンロード成功です。

〈Windows〉



〈Mac〉



PCから本製品にWi-Fiでアクセスする

Windowsからのアクセス方法

- ①ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてユーティリティを起動します。

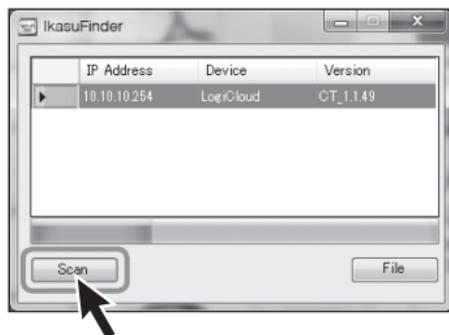
※起動の際、セキュリティの設定によってファイアウォールの警告画面が表示される場合がありますので、「アクセスを許可する」をクリックしてください。



- ②ユーティリティ起動後、「Scan」ボタンをクリックすると検索が開始され、本製品のIPアドレスなどが表示されます。

※Wi-Fi接続設定が正しく行われていないとIPアドレスは表示されません。

その場合はP.23～【Wi-Fiの設定方法】をご確認のうえ、再度設定を行ってください。



③初回アクセス時は、「Windowsセキュリティ」の画面が表示されて、IDとパスワードの入力を求められます。

本製品の初期設定は、

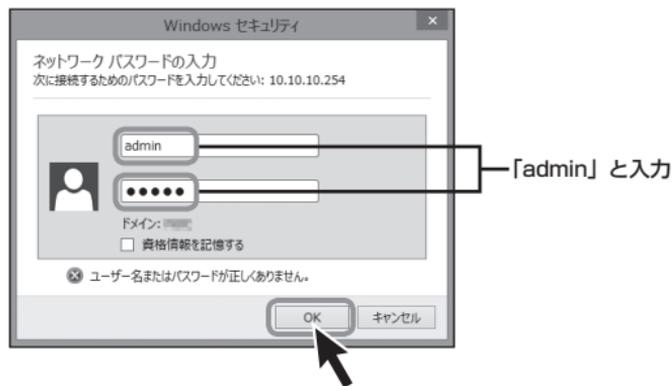
●ID：admin

●パスワード：admin

となりますので、上記を入力して「OK」ボタンをクリックします。

※「OK」ボタンをクリックする前に「資格情報を記憶する」にチェックを入れておけば、次回アクセスからこの入力を行う必要はありません。

また、パスワードは本製品の設定から変更することが可能です。



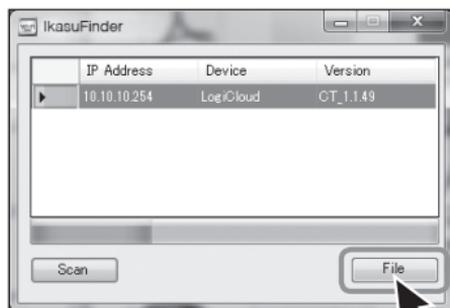
PCから本製品にWi-Fiでアクセスする

Windowsからのアクセス方法(つづき)

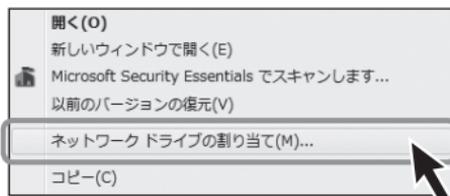
- ④ 検索完了後、「File」ボタンを押すと、本製品に接続したHDD/SSDが表示されます。

※HDD/SSDの表示名は「ボリューム名」に準拠します。

ただし、ボリューム名に2バイト文字(和文)を使用している場合は、すべて「Disk x(数字)」と表示されます。

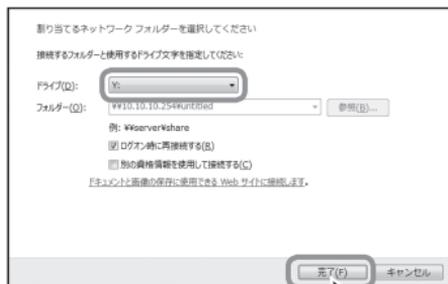


- ⑤ 表示されたHDD/SSDを右クリックし、「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。



⑥ ドライブ文字を選択して「完了」ボタンをクリックします。

※ドライブ文字が他のUSBデバイスなどと重複しないようご注意ください。



⑦ コンピュータにデバイスがマウントされ、アクセス可能になります。



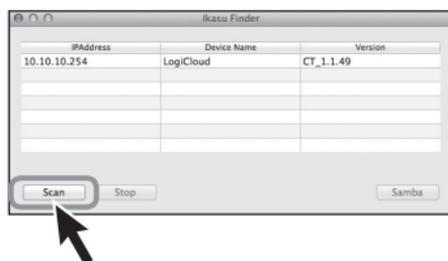
PCから本製品にWi-Fiでアクセスする

Mac OSからのアクセス方法

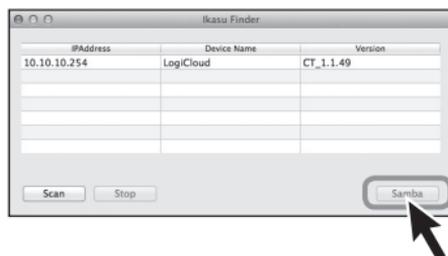
- ①解凍したファイルをダブルクリックしてユーティリティを起動します。



- ②ユーティリティ起動後、「Scan」ボタンをクリックすると検索が開始され、本製品のIPアドレスなどが表示されます。



- ③検索完了後、「Samba」ボタンをクリックします。



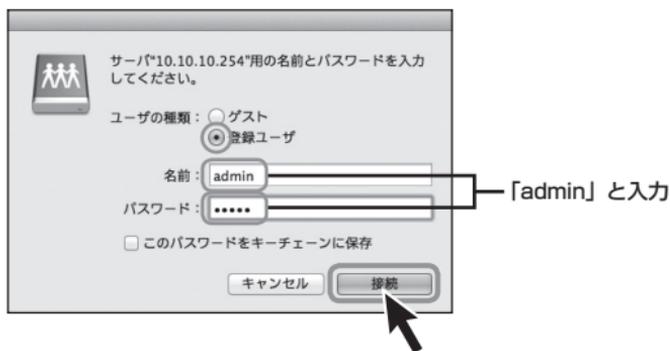
④初回アクセス時は、本製品の管理者ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、次のように設定後、「接続」ボタンをクリックします。

●ユーザの種類：登録ユーザ

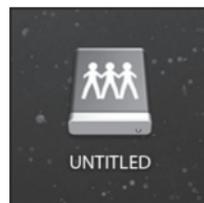
●名前：admin

●パスワード：admin

※「接続」ボタンをクリックする前に「このパスワードをキーチェーンに保存」にチェックを入れておけば、次回アクセスからこの入力を行う必要はありません。



⑤デスクトップにHDD/SSDがマウントされ、アクセス可能になります。



本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする

アクセスの概要(Windows/Mac共通)

本製品はAPクライアントモードを搭載しているので、PC>本製品>無線LANモデム/ルーターの順で、インターネットへのアクセスが可能です。

(イメージ図)



いちど設定を行えば、次回からは自動的に無線LANモデム/ルーターへ接続されます。

※接続には無線LANモデム/ルーターが必要です。

有線BBモデム/ルーターには接続できません。

※本製品のWi-Fiネットワークとお使いのWi-Fiネットワーク間でのファイル共有等はできません。

※お使いのWi-Fiネットワークから本製品に接続したUSBストレージ、設定画面へはアクセスできません。

※お使いの無線LANモデム/ルーターでDHCPを使用せず、各端末に固定IPアドレスを割り当てている場合、本製品のIPアドレス設定が必要となります。

詳しくはP.43【本製品のWAN側IPアドレスを設定する】をご参照ください。

インターネットへのアクセス方法

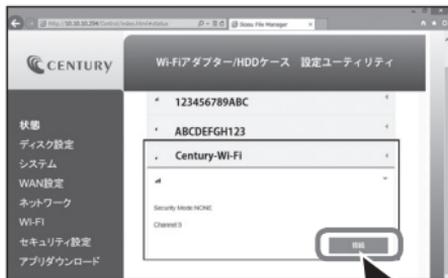
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「**http://10.10.10.254**」を入力してエンター（リターン）キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「Wi-Fi」をクリックします。



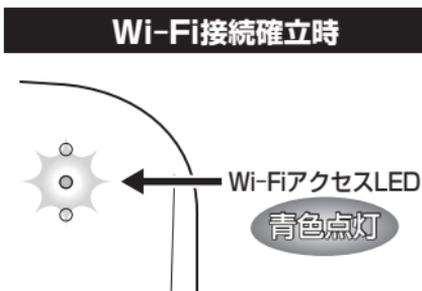
- ③接続可能なWi-FiアクセスポイントのSSIDが表示されますので、お使いの無線LANモデム/ルーターのSSIDを選択し、「接続」ボタンをクリックすると、本製品とのWi-Fi接続が開始されます。
お使いの無線LANモデム/ルーターにセキュリティパスワードが設定されている場合は、設定されたパスワードを入力してから「接続」ボタンをクリックしてください。



本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする

インターネットへのアクセス方法(つづき)

- ④接続を開始すると、自動的に本製品が再起動します。
再起動すると、いちど本製品とのWi-Fi接続が解除されますので、再起動完了後（本体のWi-FiステータスLEDが青点灯）、P.23【Wi-Fiの設定方法】の手順で、本製品とPCのWi-Fi接続を行ってください。



- ⑤PCと本製品のWi-Fi接続が完了したら、お使いのインターネットブラウザを開き、インターネットアクセスができるかご確認ください。

本製品のWAN側IPアドレスを設定する

本製品のWi-Fiを経由してのインターネットアクセス時、お使いの無線LANモデム/ルーターでDHCPを使用せず、各端末に固定IPアドレスを割り当てている場合、本製品のIPアドレス設定が必要となります。

※お使いのモデム/ルーターがIPアドレス自動割当(DHCP)の場合は特に設定を行う必要はありません。

WAN側IPアドレスの設定方法

- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



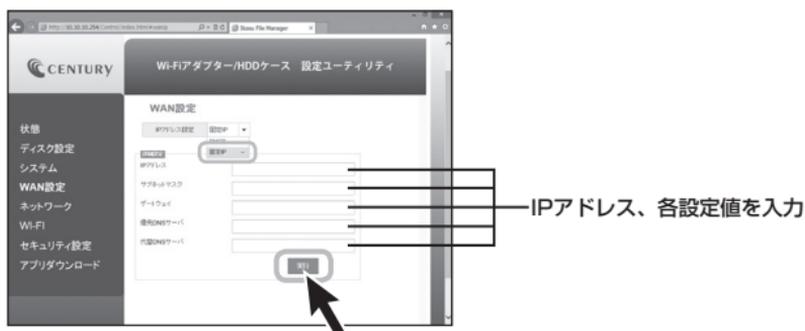
- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「WAN設定」をクリックします。



本製品のWAN側IPアドレスを設定する

WAN側IPアドレスの設定方法(つづき)

- ③「IPアドレス設定」をDHCPから固定IPに変更すると、画面下に詳細設定の項が表示されますので、本製品に設定する設定値を入力し、「実行」をクリックします。



- ④自動的に本製品の再起動が始まりますので、再起動後P.41【インターネットへのアクセス方法】を参照のうえ、設定を行ってください。

本製品のセキュリティ設定を変更する

セキュリティの概要 (Windows/Mac共通)

本製品は出荷時状態でWPA2+AESのセキュリティキーが設定されていますが、出荷時状態はすべて「12345678」に設定されていますので、必要に応じてセキュリティキーを変更してください。

セキュリティキーの変更方法

- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「http://10.10.10.254」を入力してエンター（リターン）キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「セキュリティ設定」をクリックします。



本製品のセキュリティ設定を変更する

セキュリティキーの変更方法(つづき)

- ③セキュリティモードとパスワードが表示されるので、「Pass Phrase」の項に変更したいパスワードを入力して「Apply」ボタンをクリックします。

※Security Modelは「Desable(無効)」「WEP」「WPA-PSK」「WPA2-PSK」から選択可能ですが、セキュリティの観点から「WPA2-PSK」を使用することをお勧めします。



- ④変更確認のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックすると自動的に本製品が再起動します。



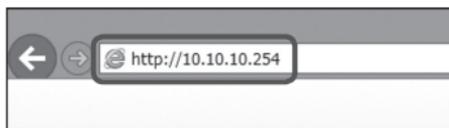
- ⑤再起動後はセキュリティキーが変更されていますので、再度P.23【Wi-Fiの設定方法】の手順で本製品とPCのWi-Fi接続を行ってください。

接続の際には、新しく設定したセキュリティキーを入力してください。

本製品のSSIDを変更する

SSIDの変更方法

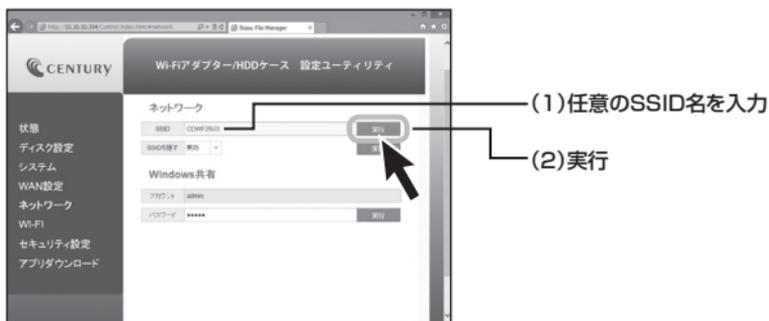
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ネットワーク」をクリックします。



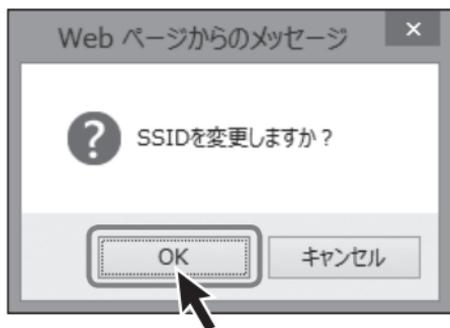
- ③SSIDの項に任意のSSID名を入力し、「実行」をクリックします。



本製品のSSIDを変更する

SSIDの変更方法(つづき)

- ④変更確認のメッセージが表示されますので、問題なければ「OK」ボタンを押してください。



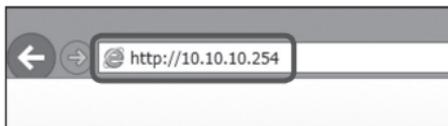
- ⑤本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにしたあと、再度P.23【Wi-Fiの設定方法】の手順で本製品とPCのWi-Fi接続を行ってください。接続の際には、新しく設定したSSIDを選択してください。

SSIDを非表示にする (SSIDステルス機能)

本製品のSSIDを他者のWi-Fiデバイスから見られないように、SSIDを非表示にすることができます。

SSIDを非表示にする方法

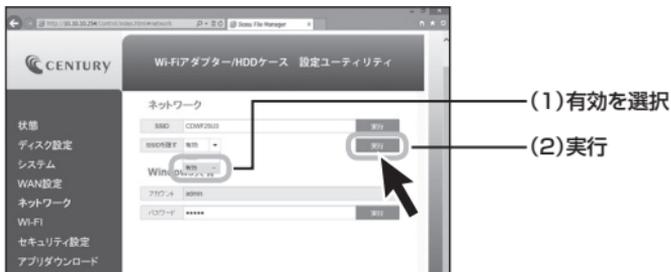
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ネットワーク」をクリックします。



- ③「SSIDを隠す」の項から「有効」を選択し、実行ボタンをクリックします。



SSIDを非表示にする(SSIDステルス機能)

SSIDを非表示にする方法(つづき)

- ④変更確認のメッセージが表示されますので、問題なければ「OK」ボタンを押してください。



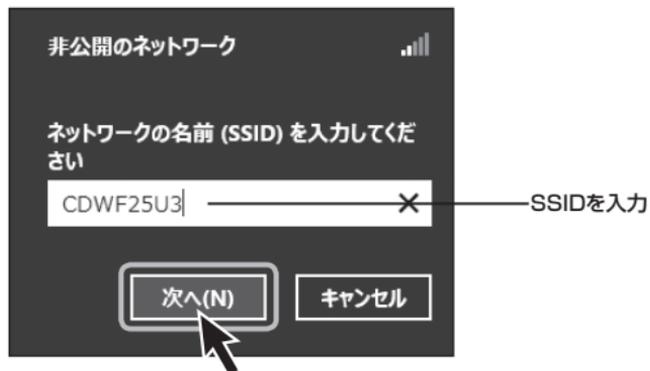
- ⑤本製品の電源をオフにし、再度電源をオンにすると、Wi-FiのSSID一覧からSSIDが表示されなくなります。

SSID非表示後のWi-Fi接続方法〈Windowsの場合〉

①Wi-FiのSSID一覧から「非公開のネットワーク」を選択し、接続をクリックします。



②SSIDを入力し、「次へ」をクリックします。SSIDを変更している場合は変更したSSIDを入力します。



SSIDを非表示にする(SSIDステルス機能)

SSID非表示後のWi-Fi接続方法<Windowsの場合>(つづき)

- ③ ネットワークセキュリティキーを入力し、「次へ」をクリックします。
セキュリティキーを変更している場合は、変更したセキュリティキーを入力します。



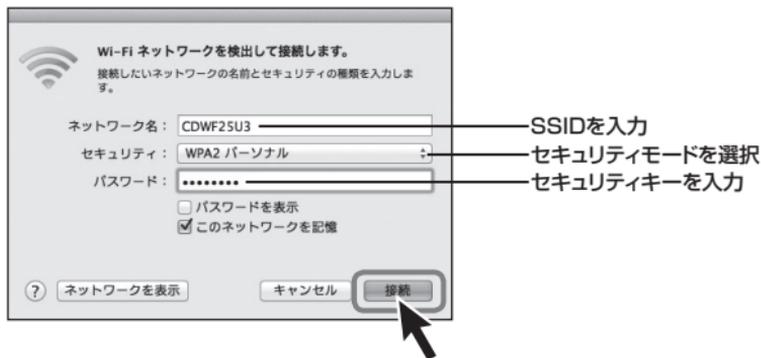
SSID非表示後のWi-Fi接続方法〈Macの場合〉

- ① 上部タスクバーのWi-Fiマークをクリックし、SSID一覧から「ほかのネットワークに接続」をクリックします。



- ② ネットワーク名にSSID、セキュリティモード、パスワード(セキュリティキー)をそれぞれ入力し、「接続」をクリックします。

SSID、セキュリティモード、パスワードを変更している場合は設定変更後のものを入力してください。



その他の設定

スリープ機能を無効にする(出荷時設定:有効)

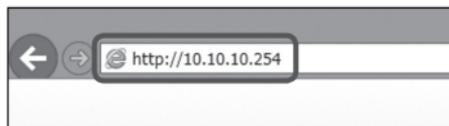
Wi-Fi接続時、5分間データアクセスがないとHDDの回転を停止させるスリープ機能を無効にします。



- 本機能はHDD搭載時のみ有効です。SSD搭載時は機能しません。
- バッテリー駆動時にスリープ機能をオフにすると、使用時間が著しく低下しますので、バッテリー駆動時は本機能を有効にご使用ください。また、スリープ有効時でも長時間使用しない場合は本製品の電源をオフにしてください。

スリープ機能の設定方法

- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ディスク設定」をクリックします。



③「スリープ」を有効から無効に切り替え、「適用」ボタンをクリックします。



仮想メモリを無効にする(出荷時設定:有効)

本製品は、接続したHDD/SSD内のファイルやサムネイルを高速に表示させるため、初回電源投入時に仮想メモリを作成します。

仮想メモリ領域は64MB～128MBの容量を消費します。

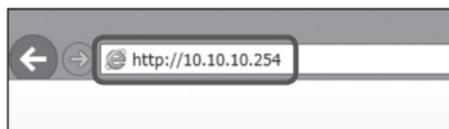
仮想メモリをオフにすることで、HDD/SSDの容量を最大限データに割り当てることができます。

※仮想メモリをオフにすると、インデックスやサムネイルの作成に時間がかかるため、HDD/SSDの容量に余裕があり、快適に使用したい場合は本機能を有効の状態でご使用ください。

その他の設定

仮想メモリの設定方法

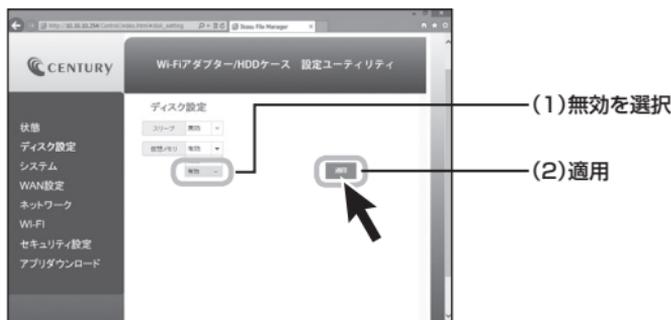
- ①お使いのインターネットブラウザを起動し、アドレスバーに「<http://10.10.10.254>」を入力してエンター(リターン)キーを押します。



- ②本製品の設定ユーティリティ画面が起動しますので、左側のメニュー「ディスク設定」をクリックします。



- ③「仮想メモリ」を有効から無効に切り替え、「適用」ボタンをクリックします。



トラブルシューティング

■Wi-Fiのリストに「CDWF25U3」が表示されない

→以下をお試しください。

- バッテリー駆動の場合、バッテリーの残量があるか確認する
- パワー/アクセスLEDが点灯しているか確認する
- Wi-FiステータスLEDの点灯を確認する
- CDWF25U3と接続機器の距離を近づけてみる

■不定期にネットワークから「CDWF25U3」が消失してしまう

→電子レンジなどの無線機器に影響をおよぼす家電製品がある場合、距離をおいて試してください。

また、無線LANやWi-Fiを使用した製品が多い場合、機器を減らした状態(電源をOFFにするなど)で動作をご確認ください。

■ユーティリティのダウンロードはできたが、Ikasu Finderから「CDWF25U3」に接続できない。File/Sambaボタンを押しても反応がない

→環境により、開くまで若干の時間がかかる場合があります。

3分程度待っても変化がない場合、接続を再度ご確認ください。

■新しいHDD/SSDを接続したが、ディスクが表示されない

→新しいHDD/SSDを接続した場合、PCとUSB接続し、領域の確保とフォーマットをする必要があります。

領域の確保とフォーマットについては、巻末付録2【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

■HDDの回転が不安定、または回転しない

→バッテリー駆動の場合、バッテリーの残量があるか確認してください。

トラブルシューティング

■対応しているフォーマットの動画で再生が行えない、音声や画像だけが出力されない

→拡張子が対応しているデータでも、使用しているコーデックなどの形式によっては再生が行えません。

また、著作権保護されたデータや、インターネット経由でデータを取得するタイプの形式には対応しておりません。

■動画などの再生が途中で止まったり、コマ送りのようになってしまう

→データ形式によっては転送が追いつかず、そのような現象が発生する可能性があります。

パソコンなどで再生レートを変更したデータを別途作成して、再生してください。

また、複数のスマートフォンなどで再生した場合、再生が追いつかない場合があります。

この場合は、アクセスする機器を少なくしてお試しください。

■スマートフォンから容量の大きいファイルをコピーするとエラーになってしまう

→仕様となります。

1ファイルあたり、200MBを超える容量のコピーを行う場合は、PCからコピーを行ってください。

■本製品とWi-Fi接続しているとインターネットにアクセスできない

→本製品とのWi-Fi接続を切断し、別のWi-Fi接続か3G等のモバイルネットワークに接続してください。

本製品のWi-Fi接続に接続したままインターネットにアクセスするには、本製品をお持ちの無線LANモデム/ルーターに接続する設定を行うことで可能になります。

PCからの設定方法はP.40【本製品のWi-Fiを経由してインターネットアクセスする】をご参照ください。スマートフォンアプリ「IkasuFileManager」からの設定も可能です。

詳しくは下記URLのサイトをご参照ください。

<http://www.century.co.jp/support/download/manual-download.html>

FAQ(よくある質問とその回答)

Q : 自宅で接続した「CDWF25U3」に外出先からアクセスできますか？

A : 残念ながらできません。「CDWF25U3」のWi-Fi接続が届く範囲内でご使用ください。

Q : AOSS、らくらく無線スタート、WPSなどの無線LANの設定方法に対応していますか？

A : 残念ながら対応しておりません。

Q : IkasuFinderを実行すると「アプリケーションを正しく初期化できませんでした。(0xc0000135)」とエラーが表示されて実行できない。(Windows)

A : IkasuFinderは Microsoft .NET Framework のパッケージを使用しております。

Windows Updateを繰り返し実行して、OSを最新の状態にして再度お試しください。

(Windows XPの場合、カスタムを選択し、.NET Framework をインストールしてください。)

新しいHDDをお使いの場合は こちらをお読みください。

- 領域の確保とフォーマット 巻末付録2
 - Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合 巻末付録2
 - Windows XPの場合 巻末付録8
- ハードウェアの取り外しについて 巻末付録13
- ハードウェアの取り外し手順 巻末付録13
- Mac OSでの使用方法 巻末付録15
- サポートのご案内 巻末付録18

！ご注意ください！

- 領域の確保とフォーマットを行うと、HDD/SSDを初期化してパソコンで認識される状態に構成されます。
- 以前、別のパソコン等でご使用になっていたHDD/SSDをご使用の場合、次ページからの作業を行うとHDD/SSD内のすべてのデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 通常、データが入っているHDD/SSDを接続した場合であれば次ページからの作業は行わずに認識、データにアクセスが可能となります。

領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

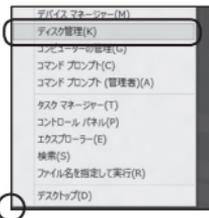


この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。

消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合

1.



□Windows 8

画面左下を**右クリック**し、「ディスク管理」を開きます。

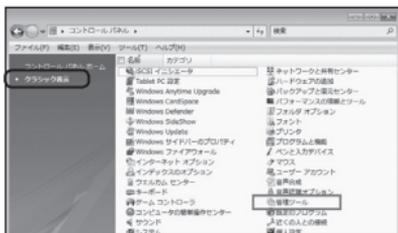
その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】→【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

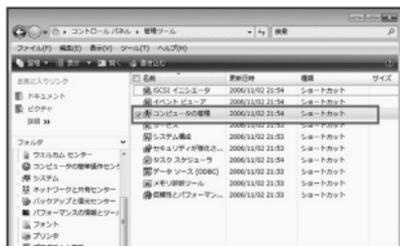


□Windows Vista

【スタート】→【コントロールパネル】→【クラシック表示※】→【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロ/パティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのいかを確認して【OK】をクリックします。

領域の確保とフォーマット(つづき)

5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

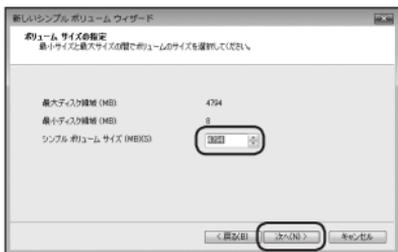
ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB (メガバイト) 単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】
ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータや
エクスプローラで割り当てられるドラ
イブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アルファ
ベット順に割り当てられます。

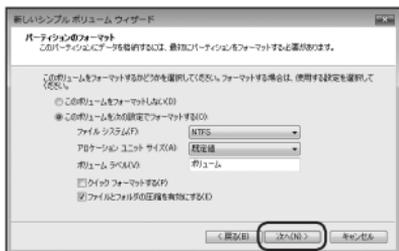
特に指定がなければ空いている割り
当て番号のいちばん若いアルファベット
が割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】
と【ドライブ文字またはドライブ パス
を割り当てない】は通常使いませんの
で選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、
Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍
等をご参照ください。

領域の確保とフォーマット(つづき)

9.



【パーティションのフォーマット】
ウィンドウが表示されます。

• ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

• アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

• ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

• クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

• ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

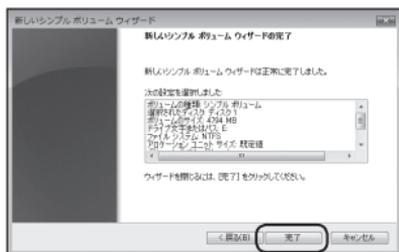
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

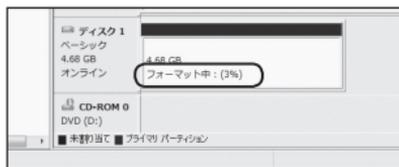
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

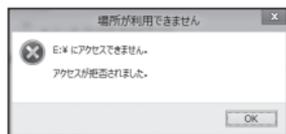
11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとする警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

領域の確保とフォーマット(つづき)

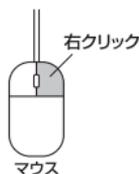
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

■Windows XPの場合

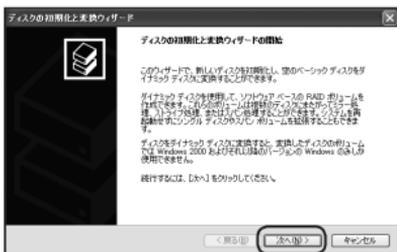
1.



スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



2.



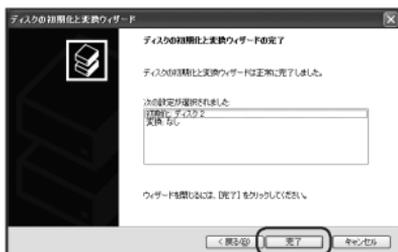
「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

5.



次にパーティションの作成を行います。

「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P) ..」を選択します。

6.



「パーティション作成ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

領域の確保とフォーマット(つづき)

7.



「パーティションの種類を選択」ウィンドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

※ひとつのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.



「パーティションサイズの指定」ウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量（1パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

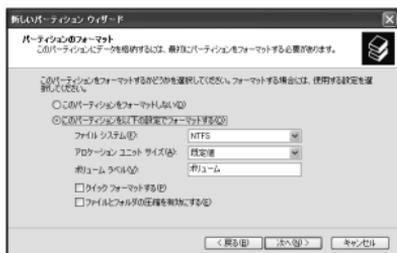
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- 使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
- アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。
指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様の的にファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

領域の確保とフォーマット(つづき)



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。

使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。



- フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

ハードウェアの取り外しについて

本製品はUSB接続時、PC起動中にハードウェアの取り外しが可能です。

※eSATA/FireWire/Thunderbolt等、USB接続以外の取り外しは対象外です。

※製品の中に組み込んだHDD/SSDを取り外す際は、ハードウェアの取り外し処理をした上で、必ず製品の電源をオフにしてから行ってください。

ハードウェアの取り外し手順

※画面は Windows 8 のものになります。他のOSでは画面が異なりますが、操作方法は同一となります。

①「コンピュータ」等で取り外しを行うデバイスのドライブレターを確認します。

例：ドライブ (F:) を取り外す場合

名前	種類
▲ ハードディスクドライブ (3)	
ローカルディスク (C:)	ローカルディスク
ボリューム (D:)	ローカルディスク
ボリューム (E:)	ローカルディスク
▲ リムーバブル記憶域があるデバイス (1)	
CENTURY (F:)	リムーバブルディスク

ドライブレター

②タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。



「ハードウェアの安全な取り外し」
アイコン

ハードウェアの取り外し手順(つづき)

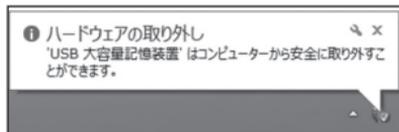
③手順①で確認したドライブレターのドライブをクリックします。



ドライブレターを確認

※装置の名称は、お買い上げの製品によって異なります。

④取り外し完了のメッセージが表示されたことを確認し、PCまたは本製品からケーブルを取り外してください。



Mac OSでの使用方法

本項では、Mac OSに新しいHDD/SSDを接続した際のフォーマット方法を説明します。



注意

安全なフォーマットのために、すでに接続して使用しているHDD/SSDがある場合はあらかじめ取り外しを行い、新しいHDD/SSDのみを接続してください。

1.



容量が一致する新しいHDD/SSD

アプリケーション>ディスクユーティリティを起動します。

起動すると左側にフォーマット可能ディスクの一覧が表示されますので、新しく接続したHDD/SSDと容量が一致するものを選択してください。

※他のHDD/SSDが表示されている場合はディスクユーティリティを一旦終了し、取り外し処理を行ってからもう一度ディスクユーティリティを起動してください。

2.



接続されているディスクの情報が表示されます。

Mac OSでの使用方法(つづき)

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。

パーティション設定を変更できます。

- ・ **ボリューム情報**：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。
「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択すると、パーティションごとに設定を変更することが可能です。
- ・ **名前**：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。
- ・ **フォーマット**：作成するボリュームのフォーマットを選択します。Mac OS標準、Mac OS拡張、UNIXファイルシステム、空き容量が作成できます。通常はMac OS標準がMac OS拡張を選択してください。
- ・ **サイズ**：作成するボリュームのサイズを変更できます。
- ・ **オプション**：Mac OS 9ディスクドライバをインストールチェックをすると、Mac OS 9で動作するドライバをインストールします。
- ・ **分割**：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。
- ・ **削除**：選択されているボリュームを削除します。
- ・ **元に戻す**：直前の変更を元に戻します。

4.



すべて決定したら右下の「OK」をクリックします。
警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、
キャンセルする場合は「キャンセル」
をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップ
にマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンを
Dockの中のごみ箱にドロップします。

サポートのご案内

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{みた}二^{おきな}翁^{はら}原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力をお願いいたします。
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.